

平成16年第3回定例会

9月6日～28日

	議案	審議件数	可決・採択	否決・不採択	継続
議案	16	8	0	8	
意見書・決議	13	9	4	0	
請願	10	2	6	2	

主な内容	2	面	……平成15年度決算代表質疑、一般質問
	3	面	……一般質問
	4	面	……一般質問、議案等の審議結果、意見書

平成15年度各会計決算の状況			
一般会計		歳入	553億6,825万円
		歳出	536億 833万円
特別会計	国民健康保険事業	歳入	126億6,609万円
		歳出	126億2,691万円
	下水道事業	歳入	31億7,466万円
		歳出	31億5,650万円
	再開発事業	歳入	24億8,683万円
		歳出	22億 137万円
	老人医療	歳入	126億2,283万円
		歳出	126億1,462万円
	老人保健施設事業	歳入	3億4,631万円
		歳出	3億3,518万円
	介護保険事業	歳入	69億1,905万円
		歳出	65億7,257万円
	受託水道事業	歳入	24億1,840万円
		歳出	24億1,840万円



緑化センターが完成し、10月にグランドオープンした三鷹市農業公園

中央道高井戸・八王子間
通行料金撤廃を求める意見書可決

今定例会初日の9月6日の本会議で、「中央自動車道高井戸・八王子間の料金撤廃を求める意見書」を可決した。要旨は次のとおり。

平成13年に国は一連の特殊法人改革の一環として、道路四公団（日本道路公団・首都高速道路公団・阪神高速道路公団・本州四国連絡橋公団）を平成17年度までに民営化する方針を打ち出した。その論議が深まる中、首都高速道路公団については現状のまま残され、現在の日本道路公団が3分割されることが決定している。そのような形態になるならば、東京都内には2つの高速道路会社が誕生することになり、三多摩地域に居住する者は同じ都民でありながら二重に料金を負担するといふ、三多摩格差は依然定止されないままになることが予想される。現在、東京都は、首都高速道路公団に、1千822億円に上る出資と2千20億円もの無利子貸付けを行っているが、当然の中には三多摩都民の税金が含まれており、そも

請願書への押印
自署の場合は省略可能に

今定例会初日の9月6日、「三鷹市議会会議規則の一部を改正する規則」を議員提出議案として提出し、同日の本会議で可決した。先の6月定例会では、「請願提出の際添付する署名簿の印鑑の省略について」とする請願が採択された。こうした経過を踏まえ、今

新潟中越地震で
義援金を送る

三鷹市議会は、10月27日、新潟県中越地震の被災者への義援金として、新潟県災害対策本部に30万円を送った。

- 人 事
- 三鷹市民生委員推薦委員会 徳永 弘行 増田 仁
 - 三鷹市個人情報保護委員会 緒方 一郎 後藤 貴光
 - 白鳥 孝 中村 洋
 - 栗原 健治
 - 三鷹市まちづくり推進委員会 永原 美代 穴戸 治重
 - 加藤 久平 増田 仁
 - 栗原 健治
 - 三鷹市社会福祉協議会評議員 永原 美代 後藤 貴光
 - 嶋崎 英治 中村 洋
 - 大城 美幸

疑の要旨は2面に掲載

市長の決算説明

平成15年度の当初予算は、前市長のもとで、通常の年間予算ではなく、いわゆる骨格予算として編成された。このため、本格的な予算は、昨年4月の市長選挙の後、6月の市議会定例会に補正予算として提案し、議会で可決された。予算執行については、この補正予算で示した基本的な考え方に従い、「高環境・高福祉のまちづくり」の更なる発展を目指し、全力をあげて取り組みを行った。また、年度の途中に生じた新たな課題については、市議会や市民の声に耳を傾け、適切かつ機敏な対応に努

疑の要旨は2面に掲載

市長の決算説明

平成15年度の当初予算は、前市長のもとで、通常の年間予算ではなく、いわゆる骨格予算として編成された。このため、本格的な予算は、昨年4月の市長選挙の後、6月の市議会定例会に補正予算として提案し、議会で可決された。予算執行については、この補正予算で示した基本的な考え方に従い、「高環境・高福祉のまちづくり」の更なる発展を目指し、全力をあげて取り組みを行った。また、年度の途中に生じた新たな課題については、市議会や市民の声に耳を傾け、適切かつ機敏な対応に努

疑の要旨は2面に掲載

市長の決算説明

平成15年度の当初予算は、前市長のもとで、通常の年間予算ではなく、いわゆる骨格予算として編成された。このため、本格的な予算は、昨年4月の市長選挙の後、6月の市議会定例会に補正予算として提案し、議会で可決された。予算執行については、この補正予算で示した基本的な考え方に従い、「高環境・高福祉のまちづくり」の更なる発展を目指し、全力をあげて取り組みを行った。また、年度の途中に生じた新たな課題については、市議会や市民の声に耳を傾け、適切かつ機敏な対応に努

疑の要旨は2面に掲載

市長の決算説明

平成15年度の当初予算は、前市長のもとで、通常の年間予算ではなく、いわゆる骨格予算として編成された。このため、本格的な予算は、昨年4月の市長選挙の後、6月の市議会定例会に補正予算として提案し、議会で可決された。予算執行については、この補正予算で示した基本的な考え方に従い、「高環境・高福祉のまちづくり」の更なる発展を目指し、全力をあげて取り組みを行った。また、年度の途中に生じた新たな課題については、市議会や市民の声に耳を傾け、適切かつ機敏な対応に努

疑の要旨は2面に掲載

市長の決算説明

平成15年度の当初予算は、前市長のもとで、通常の年間予算ではなく、いわゆる骨格予算として編成された。このため、本格的な予算は、昨年4月の市長選挙の後、6月の市議会定例会に補正予算として提案し、議会で可決された。予算執行については、この補正予算で示した基本的な考え方に従い、「高環境・高福祉のまちづくり」の更なる発展を目指し、全力をあげて取り組みを行った。また、年度の途中に生じた新たな課題については、市議会や市民の声に耳を傾け、適切かつ機敏な対応に努

疑の要旨は2面に掲載

市長の決算説明

平成15年度の当初予算は、前市長のもとで、通常の年間予算ではなく、いわゆる骨格予算として編成された。このため、本格的な予算は、昨年4月の市長選挙の後、6月の市議会定例会に補正予算として提案し、議会で可決された。予算執行については、この補正予算で示した基本的な考え方に従い、「高環境・高福祉のまちづくり」の更なる発展を目指し、全力をあげて取り組みを行った。また、年度の途中に生じた新たな課題については、市議会や市民の声に耳を傾け、適切かつ機敏な対応に努

疑の要旨は2面に掲載

市長の決算説明

平成15年度の当初予算は、前市長のもとで、通常の年間予算ではなく、いわゆる骨格予算として編成された。このため、本格的な予算は、昨年4月の市長選挙の後、6月の市議会定例会に補正予算として提案し、議会で可決された。予算執行については、この補正予算で示した基本的な考え方に従い、「高環境・高福祉のまちづくり」の更なる発展を目指し、全力をあげて取り組みを行った。また、年度の途中に生じた新たな課題については、市議会や市民の声に耳を傾け、適切かつ機敏な対応に努

疑の要旨は2面に掲載

市長の決算説明

平成15年度の当初予算は、前市長のもとで、通常の年間予算ではなく、いわゆる骨格予算として編成された。このため、本格的な予算は、昨年4月の市長選挙の後、6月の市議会定例会に補正予算として提案し、議会で可決された。予算執行については、この補正予算で示した基本的な考え方に従い、「高環境・高福祉のまちづくり」の更なる発展を目指し、全力をあげて取り組みを行った。また、年度の途中に生じた新たな課題については、市議会や市民の声に耳を傾け、適切かつ機敏な対応に努

疑の要旨は2面に掲載

市長の決算説明

平成15年度の当初予算は、前市長のもとで、通常の年間予算ではなく、いわゆる骨格予算として編成された。このため、本格的な予算は、昨年4月の市長選挙の後、6月の市議会定例会に補正予算として提案し、議会で可決された。予算執行については、この補正予算で示した基本的な考え方に従い、「高環境・高福祉のまちづくり」の更なる発展を目指し、全力をあげて取り組みを行った。また、年度の途中に生じた新たな課題については、市議会や市民の声に耳を傾け、適切かつ機敏な対応に努

疑の要旨は2面に掲載

市長の決算説明

平成15年度の当初予算は、前市長のもとで、通常の年間予算ではなく、いわゆる骨格予算として編成された。このため、本格的な予算は、昨年4月の市長選挙の後、6月の市議会定例会に補正予算として提案し、議会で可決された。予算執行については、この補正予算で示した基本的な考え方に従い、「高環境・高福祉のまちづくり」の更なる発展を目指し、全力をあげて取り組みを行った。また、年度の途中に生じた新たな課題については、市議会や市民の声に耳を傾け、適切かつ機敏な対応に努

疑の要旨は2面に掲載

市長の決算説明

平成15年度の当初予算は、前市長のもとで、通常の年間予算ではなく、いわゆる骨格予算として編成された。このため、本格的な予算は、昨年4月の市長選挙の後、6月の市議会定例会に補正予算として提案し、議会で可決された。予算執行については、この補正予算で示した基本的な考え方に従い、「高環境・高福祉のまちづくり」の更なる発展を目指し、全力をあげて取り組みを行った。また、年度の途中に生じた新たな課題については、市議会や市民の声に耳を傾け、適切かつ機敏な対応に努

疑の要旨は2面に掲載

市長の決算説明

平成15年度の当初予算は、前市長のもとで、通常の年間予算ではなく、いわゆる骨格予算として編成された。このため、本格的な予算は、昨年4月の市長選挙の後、6月の市議会定例会に補正予算として提案し、議会で可決された。予算執行については、この補正予算で示した基本的な考え方に従い、「高環境・高福祉のまちづくり」の更なる発展を目指し、全力をあげて取り組みを行った。また、年度の途中に生じた新たな課題については、市議会や市民の声に耳を傾け、適切かつ機敏な対応に努